

21. 子宮がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法		光線力 学療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
			開腹手術	腹腔鏡下手術(腔式)		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 婦人科	4	2	状況 ○	○	○	×	×	×	子宮頸がんの治療には手術療法や放射線療法とともに化学療法(術前化学療法、術後補助療法、放射線同時化学療法)を積極的に組み込み、根治を目指しています。子宮体がんの治療では、適応と考えられる症例に傍大動脈リンパ節郭清も加えています。腹腔鏡下手術に関しては、初期がんのみとなり	ア <a href="http://izumi.tokushukai.or.jp">http://izumi.tokushukai.or.jp</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績 あり	あり	あり	なし	なし	なし		イ http://			
2 腫瘍内科	5	5	状況 ×	×	○	×	×	×	婦人科とのカンファレンスで、化学療法を行っています。	ア <a href="http://izumi.tokushukai.or.jp">http://izumi.tokushukai.or.jp</a>	掲載なし	掲載あり	掲載あり
			実績 なし	なし	あり	なし	なし	なし		イ http://			
3 放射線科	1	1	状況 ×	×	×	○	×	×	婦人科とのカンファレンスで、放射線治療を行っています。小線源治療については、大阪市立大学医学部附属病院と連携して施行しています。	ア <a href="http://izumi.tokushukai.or.jp">http://izumi.tokushukai.or.jp</a>	掲載なし	掲載あり	掲載なし
			実績 なし	なし	なし	あり	なし	なし		イ http://			
4			状況							ア http://			
			実績							イ http://			
5			状況							ア http://			
			実績							イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 子宮頸がん、子宮体がん
	子宮頸がん、子宮体がん